
個人投資家様向け説明会

2010年10月23日



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

証券コード:8732



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。本資料における将来の展望に関する表明は、2010年10月23日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2010年10月23日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

I . マネーパートナーズとFX市場

II . FXの仕組みと当社グループの収益構造

III . 特徴と強み

IV . 経営戦略

参考資料

I . マネーパートナーズとFX市場



外国為替証拠金取引(FX取引) 中心の証券会社を持つ持株会社です



FXとは・・・

取扱い業者に一定の「証拠金」を預けることで、
その証拠金を担保として、業者への預け入れ金額よりも
大きな額の外国為替取引(通貨の売買)を行える金融商品



FX業界におけるパイオニア

- 1999年10月、FX取り扱い業務を開始した、日本におけるFX取引のパイオニア的存在
- 2005年6月、ネット企業のインキュベーションにより、FX専門会社として独立
(その後、2008年10月に持株会社体制へ移行。吸収分割により、全事業を新設会社である「マネーパートナーズ」に承継し、当社は「マネーパートナーズグループ」に商号変更)

FX専業業者での上場第1号

- 2007年6月、大阪証券取引所ヘラクレス市場(※現JASDAQ市場)にFX専業業者として初の上場を実現
- 会社設立から2年での上場はヘラクレス市場最短記録

FX業界最大手の一角

- 顧客口座数約15万口座、預かり証拠金約330億円
- 上場FX業者としては国内トップ、未上場を含めたFX業者の中ではトップクラス
- 外資系銀行と並び、『大証FX』のマーケットメイカーとして参加

社是

DON'T STOP!

とめない、とまらない。

企業理念

投資家の保護育成と顧客第一主義に努め、
外国為替証拠金取引市場の健全な発展に寄与する。

カスタマー
ファースト

イノベーション

バリューアップ

コンプライアンス



外国為替証拠金取引(FX取引)の特徴

従来の投資商品である株式や債券などとは異なる特徴を持つデリバティブ商品

FX取引の特徴

24時間取引可能

世界共通の外国為替が投資対象のため、
24時間取引可能であり、取引の自由度が高い

多様な収益機会

買いからも売りからも取引スタートが可能なおうえ、
外国為替は世界最大のマーケットであり、非常に
高い流動性をもつ

高い資金効率

数倍～数十倍のレバレッジをかけることができ、
小額の元手で大きな額の取引が可能

セーフティネット

自動ロスカットの仕組みを持っており、他の金融商品
と比較し、リスクを限定できる

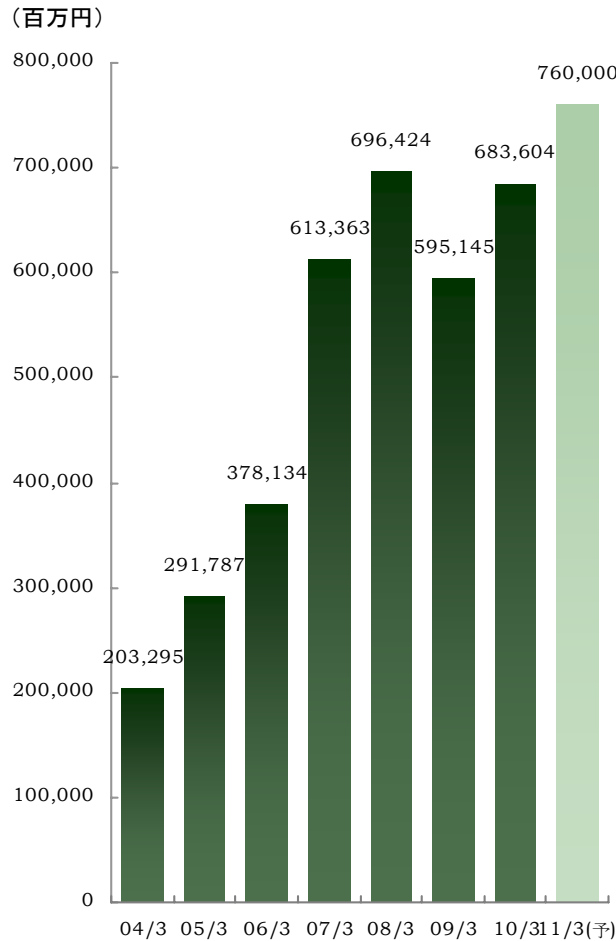


Money Partners Group

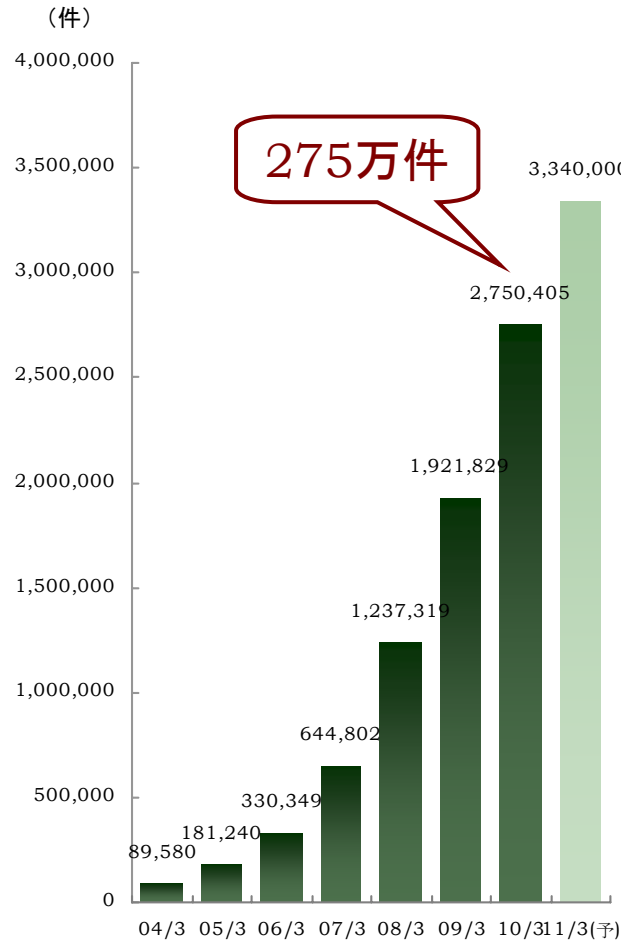
外国為替証拠金取引(FX取引)市場について

取引高については証拠金規制により減少すると予想されるものの、
今後はFX市場の透明化の進展に伴い市場規模、口座数も順調に拡大する見込み

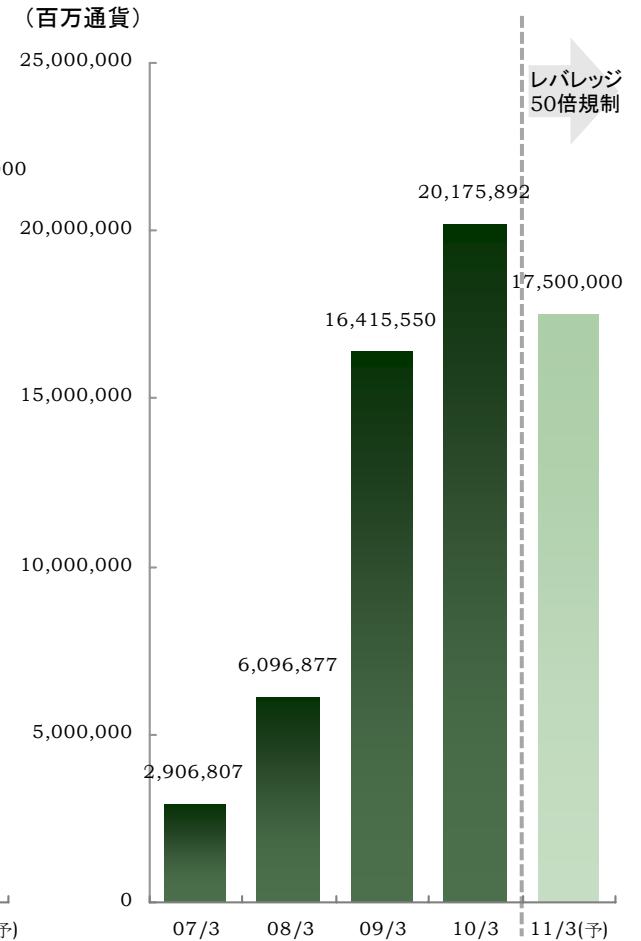
【預り証拠金推移】



【口座数推移】



【店頭取引の取引高推移】



※矢野経済研究所「FX(外国為替証拠金取引)の動向調査結果 2010」より当社作成



Money Partners Group

外国為替証拠金取引(FX取引)の可能性

パスポート(一般旅券)発行数
(2009年1月~12月類累計)

401万件

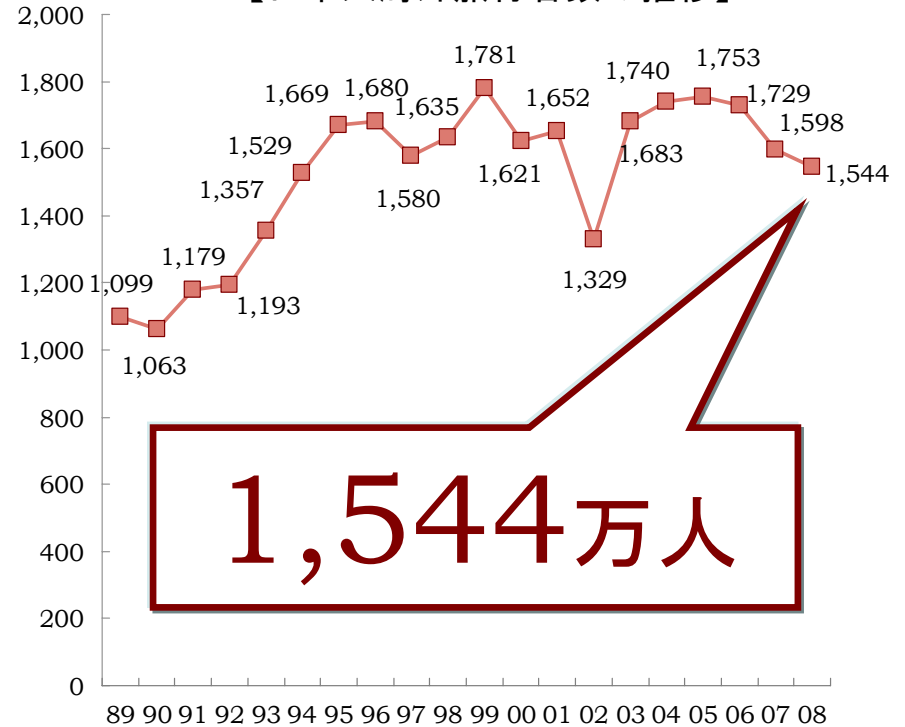
パスポート有効旅券数
(2009年12月28日現在)

5年旅券 784万人分
10年旅券 2,304万人分

計 3,088万人分

※外務省「旅券統計(平成21年1月~12月)」より当社作成

【日本人海外旅行者数の推移】



※平成22年版観光白書より当社作成



FX取引の潜在顧客となりうるユーザーは、約1,500万人以上
FXの透明化・一般化に伴い、市場は更なる拡大の可能性も

Ⅱ .FXの仕組みと当社グループの収益構造





外国為替証拠金取引(FX取引)の仕組み

1ドル=100円の場合

ドル高・円安と予想

ドル安・円高と予想

ドル/円を1万通貨単位『買い』

ドル/円を1万通貨単位『売り』

ドル高・円安
の進行

(為替レート)

1ドル=101円
(値上がり)

売り=1万米ドル
(円換算101万円)

101万円 - 100万円 =
1万円の利益

レバレッジ5倍の場合は、証拠金20万円で1万円の差益を獲得

ドル安・円高
の進行

(為替レート)

1ドル=99円
(値下がり)

買い=1万米ドル
(円換算99万円)

100万円 - 99万円 =
1万円の利益

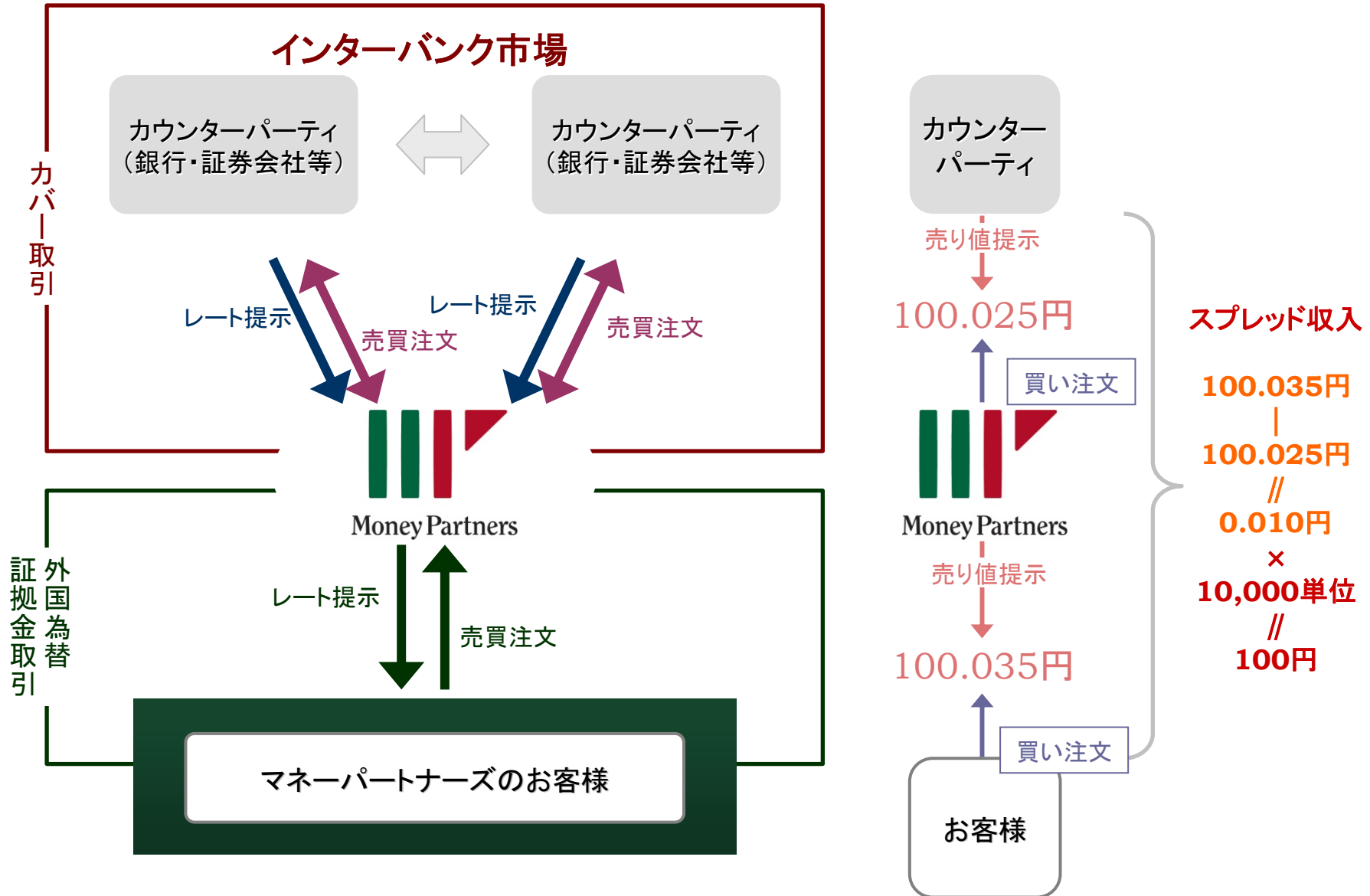
レバレッジ10倍の場合は、証拠金10万円で1万円の差益を獲得

どちらからでも
取引開始が可能



Money Partners Group

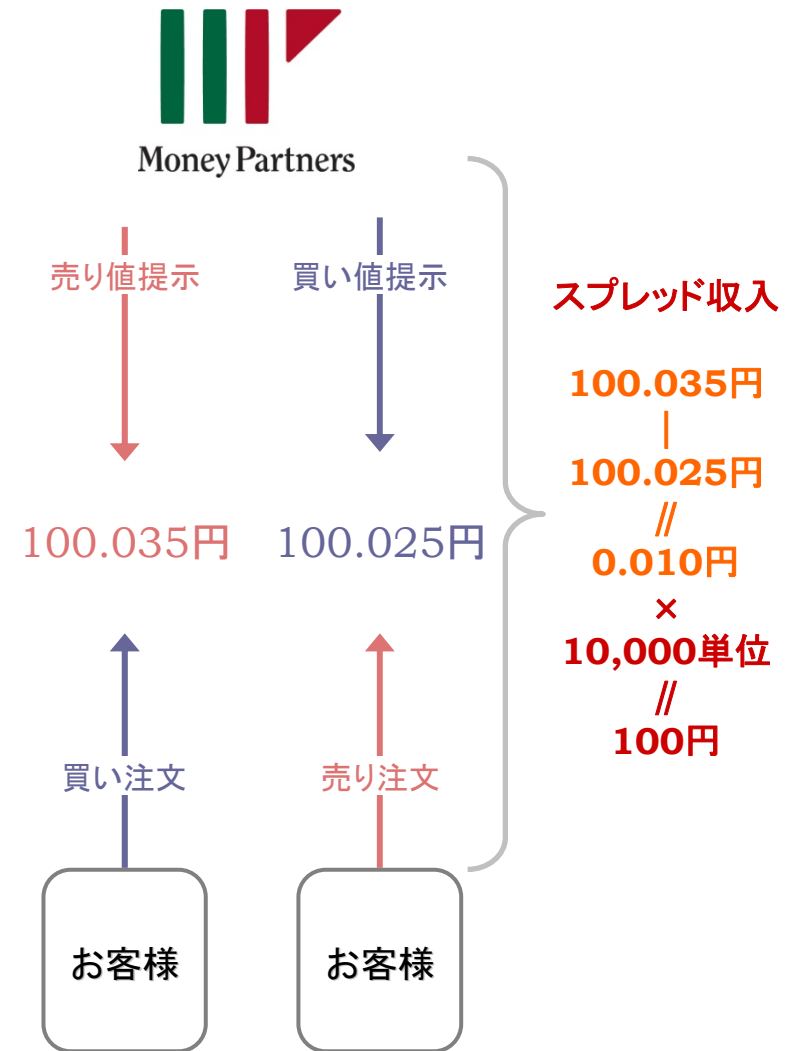
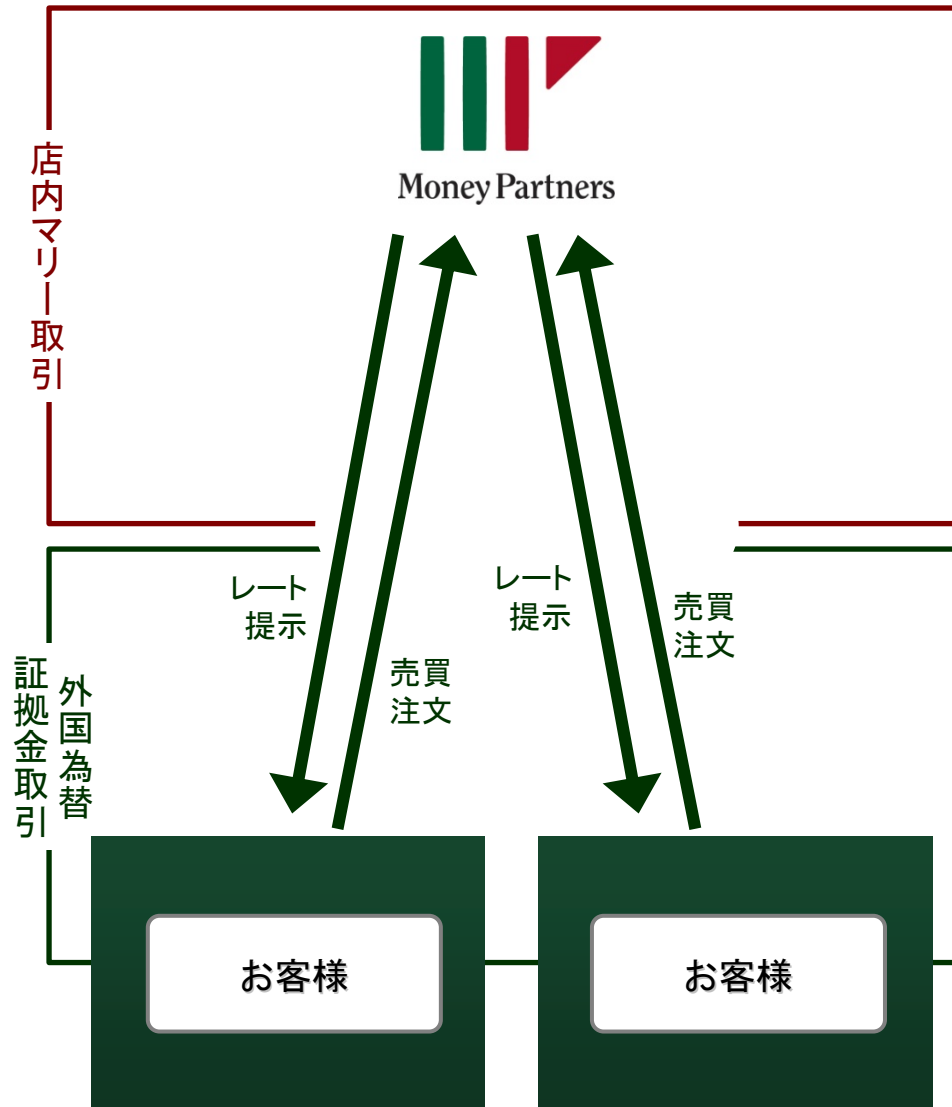
マネーパートナーズの収益構造 (BtoC/カバー取引)



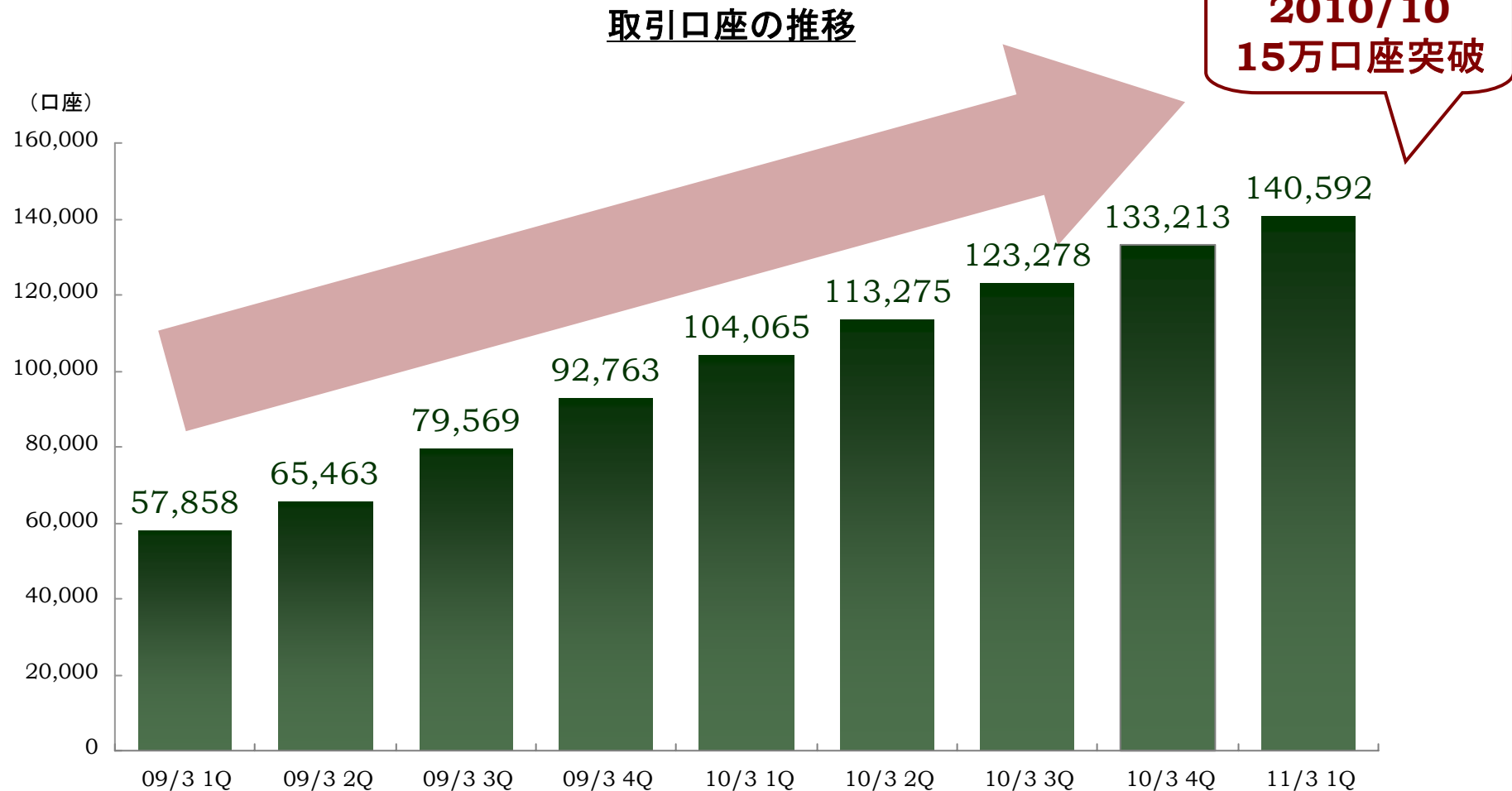


Money Partners Group

マネーパートナーズの収益構造 (BtoC / 店内マリー取引)



当社グループの口座数推移

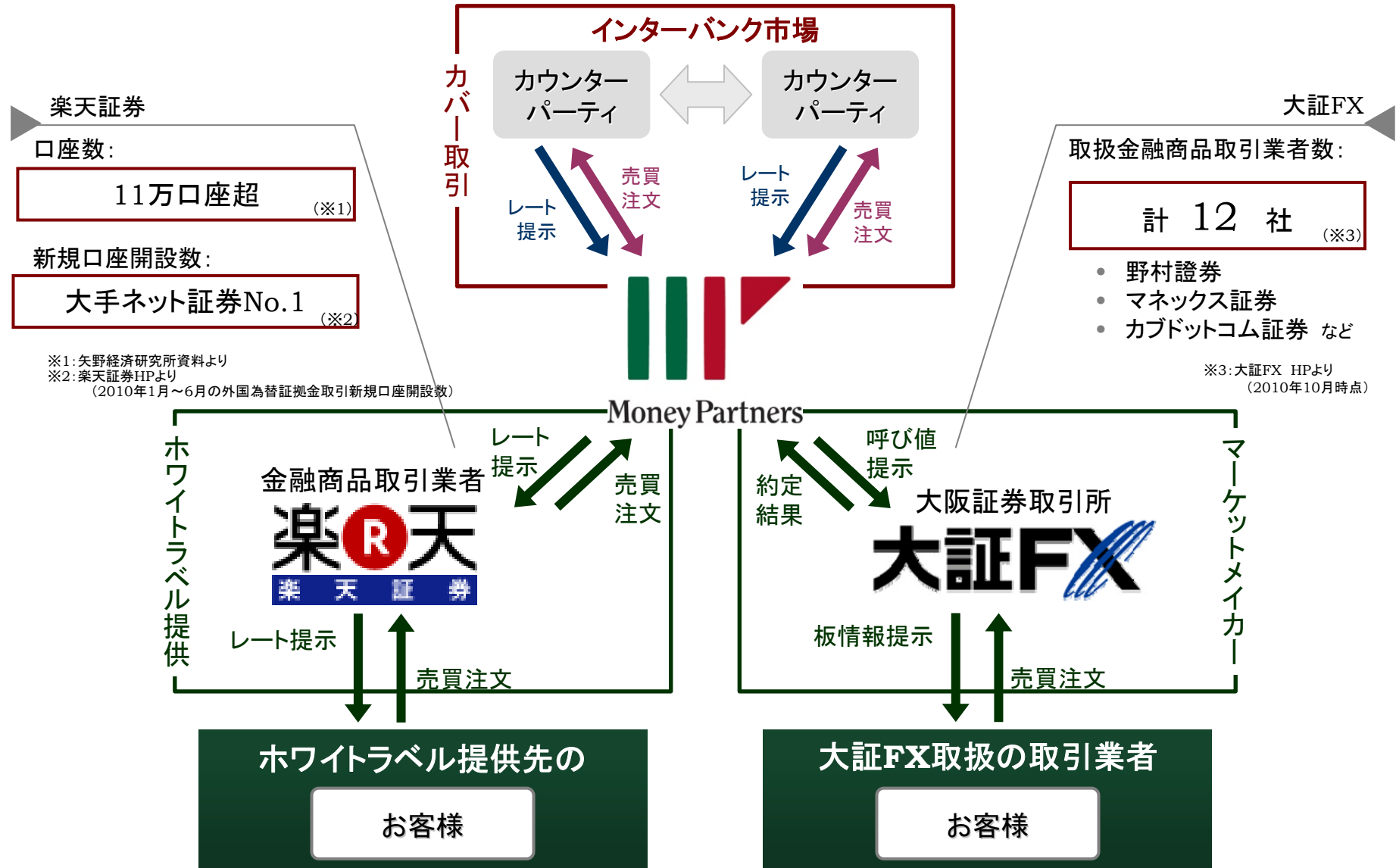


FX取引の拡大に伴い順調に口座数を拡大

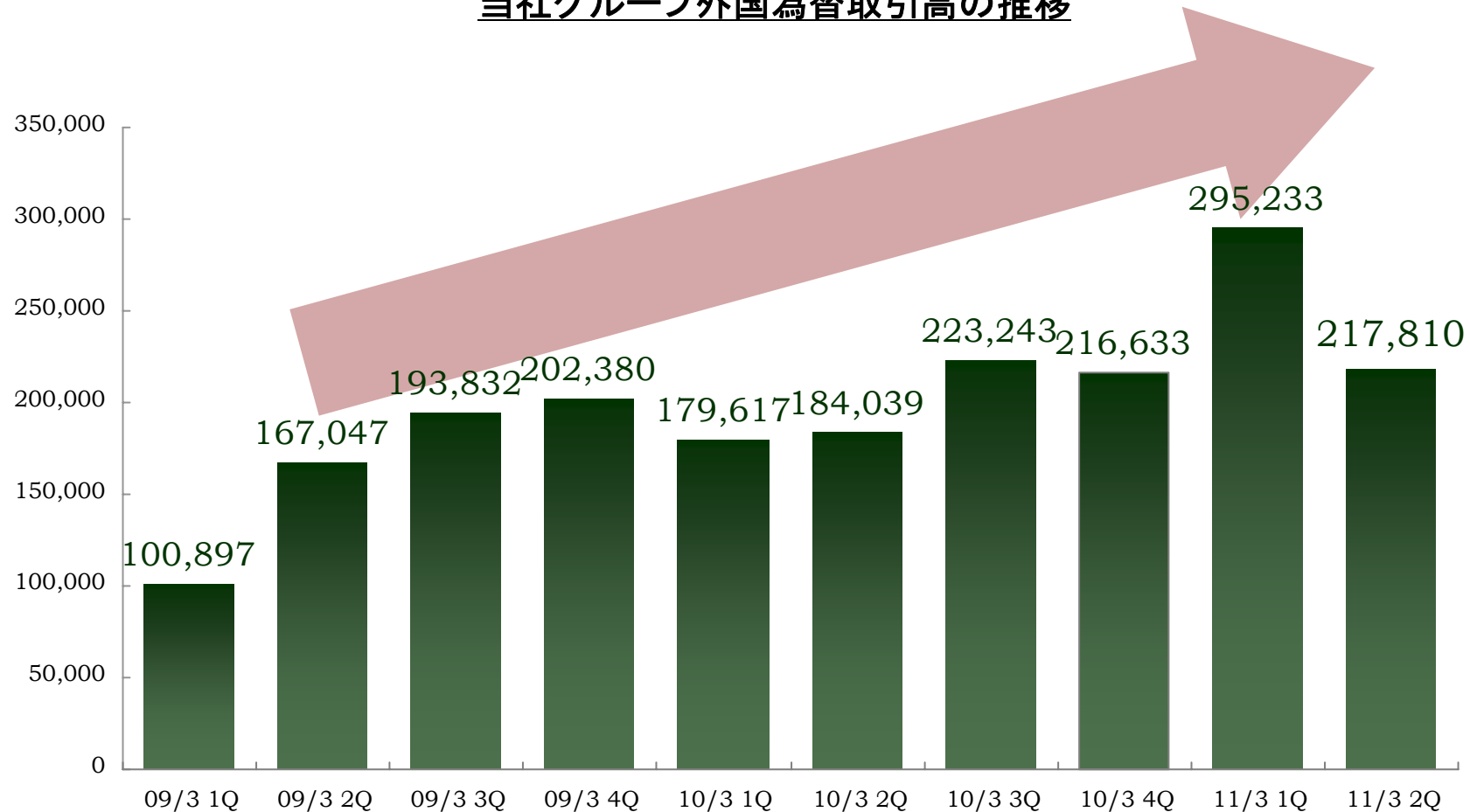


マネーパートナーズの収益構造 (BtoB)

Money Partners Group



当社グループ外国為替取引高の推移



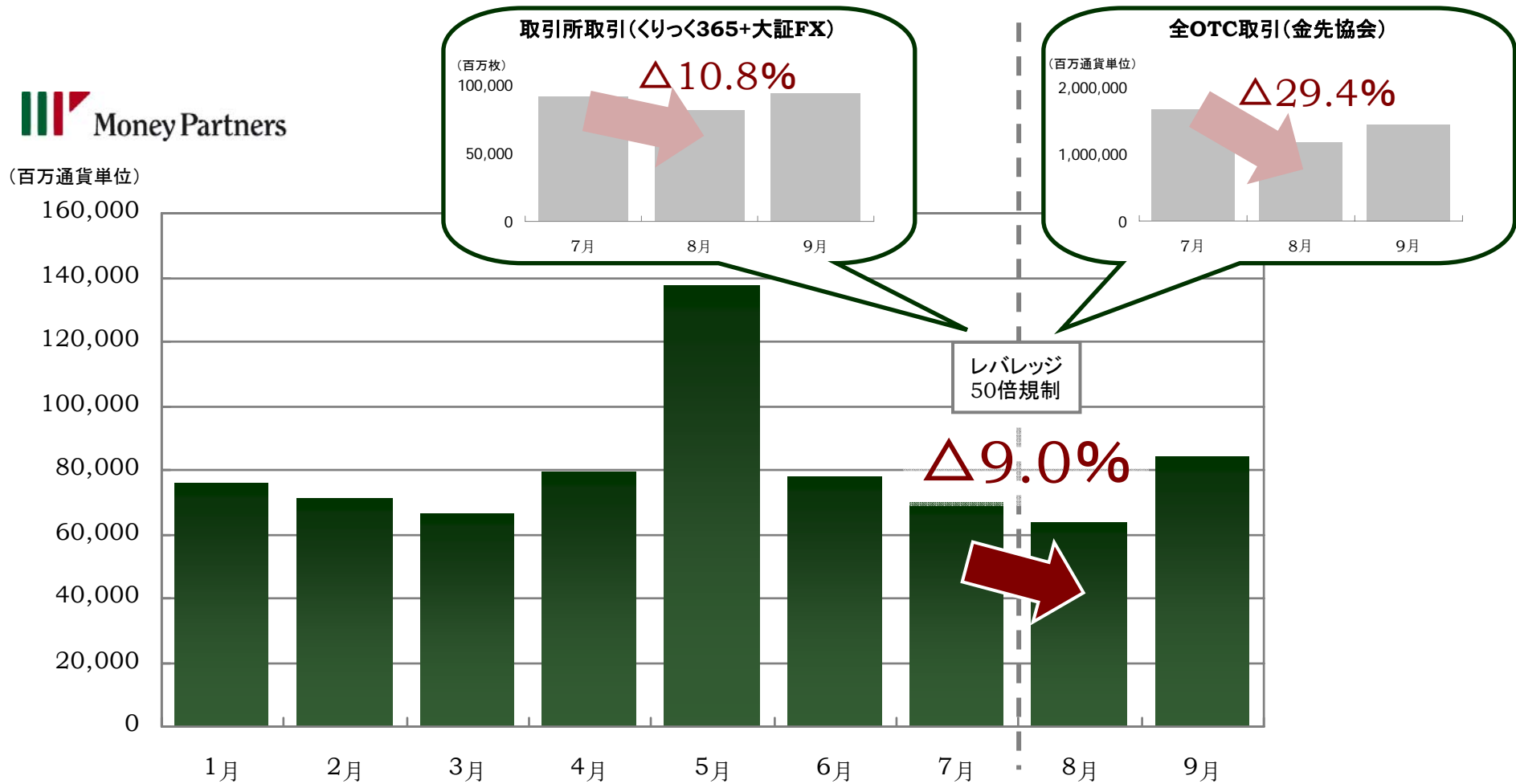
リーマンショック・ギリシャ危機など為替変動要因のみならず、
継続的な取引高拡大施策により拡大



証拠金規制による影響

Money Partners Group

当社グループおよび取引所取引・店頭取引全体の直近外国為替取引高



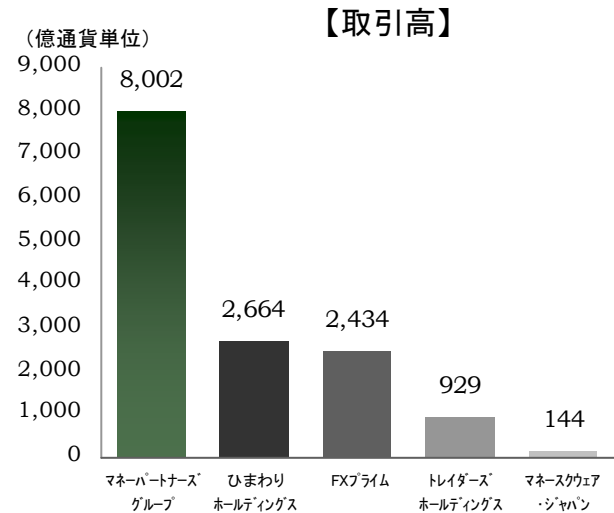
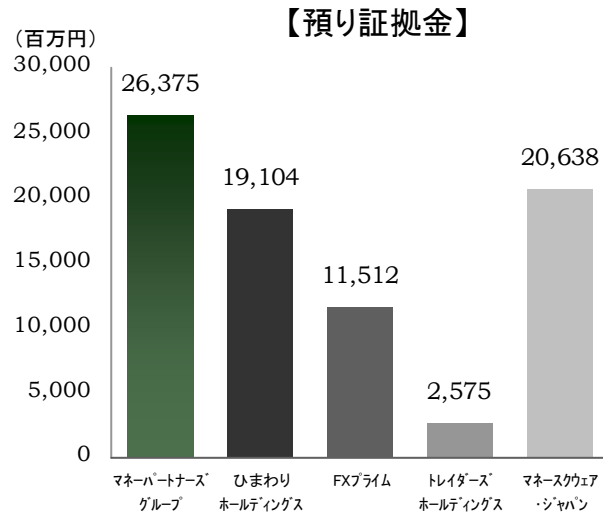
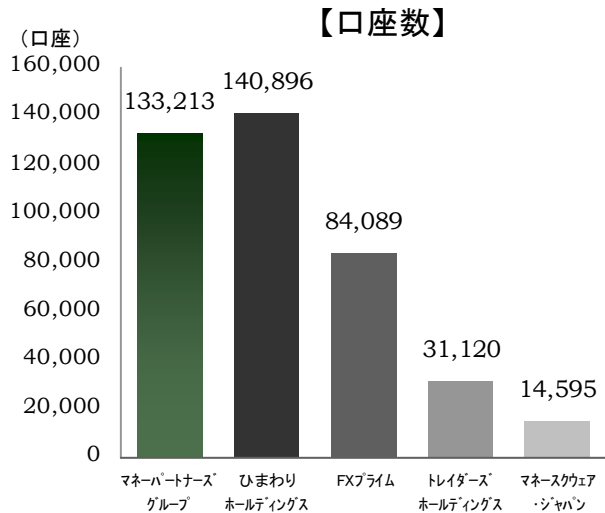
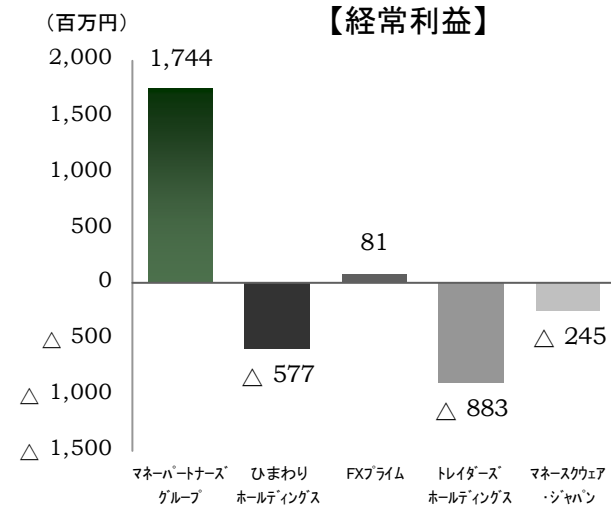
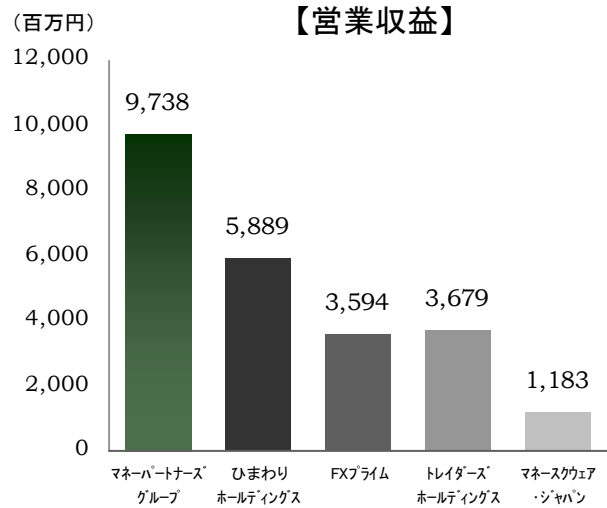
取引所取引および店頭取引全体と比較してもマイナス影響は軽微



Money Partners Group

業績、経営指標比較 (FXを主要な事業としている上場企業)

当社グループと上場FX業者(専業および専業以外)の主要指標比較(2010年3月期)



Ⅲ. 特徴と強み





業界No.1の約定力

Money Partners Group

◆ カタログスペックにはあらわれない顧客の“実質コスト”を考慮した商品設計

ストリーミング注文時において、顧客に提示したレートで
必ず約定する「ディーラブルプライス」提示の徹底



(※1) 注文を出した値段で約定せずに顧客に不利な方向にずれて約定してしまうこと、またはそのズレのこと。

(※2) 注文を出した値段で約定ができず注文がキャンセル(拒否)されてしまうこと。

順位	企業名	公表 スプレッド (pips) ^(※1)	発注 回数	スリッページ設定2pips許容			スリッページ発生率 ([A]+[B]) /200 ^(※2)
				[A]スリッページ 発生回数	[B]約定 拒否回数	[A]+[B]	
1	当社	1.2	200	0	0	0	0.0%
1	A社	1	200	0	0	0	0.0%
1	B社	1	200	0	0	0	0.0%
4	C社	2~	200	3	0	3	1.5%
5	D社	0~1	200	4	0	4	2.0%
6	E社	0.9	200	4	4	8	4.0%
7	F社	1	200	26	2	28	14.0%
8	G社	1	200	39	1	40	20.0%
9	H社	0.8	200	62	0	62	31.0%
10	I社	2	200	70	2	72	36.0%
11	J社	0.9	200	71	2	73	36.5%
12	K社	0.8	200	91	0	91	45.5%
13	L社	0~0.8	200	96	26	122	61.0%
14	M社	0.5~0.8	200	97	4	101	50.5%
15	N社	0.5~0.7	200	108	45	153	76.5%

順位	企業名	公表 スプレッド (pips) ^(※1)	発注 回数	スリッページ設定0pips許容(許容無)			約定率 1-((A)+[B]) /200
				[A]スリッページ 発生回数	[B]約定 拒否回数	[A]+[B]	
1	当社	1.2	200	—	0	0	100.0%
1	O社	1	200	—	0	0	100.0%
1	P社	0~1	200	—	0	0	100.0%
4	Q社	0.9	200	—	2	2	99.0%
5	R社	2~	200	—	6	6	97.0%
6	S社	1	200	—	7	7	96.5%
7	T社	1	200	—	37	37	81.5%
8	U社	1	200	—	42	42	79.0%
9	V社	2	200	—	44	44	78.0%
10	W社	0.5~0.9	200	—	44	44	78.0%
11	X社	0.8	200	—	64	64	68.0%
12	Y社	0.8	200	—	68	68	65.5%
13	Z社	0.9	200	—	70	70	65.0%
14	AA社	0~0.8	200	—	72	72	64.0%
15	AB社	0.5~0.7	200	—	100	100	50.0%

㈱矢野経済研究所調べ(2010年8月23日(月)~27日(金))

※1 公表スプレッドはドル/円の通常時の数値、キャンペーン時の数値も含む

※2 スリッページ許容2pips設定時に発生した約定拒否は、2pips以上のスリッページ発生とらえ、算出

㈱矢野経済研究所調べ(2010年8月30日(月)~9月3日(金))

※1 公表スプレッドはドル/円の通常時の数値、キャンペーン時の数値も含む

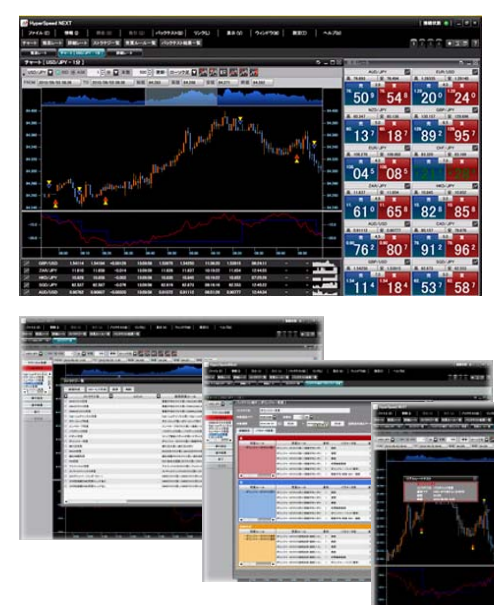


Money Partners Group


付加価値の高いサービス

◆ 顧客満足度の高いリッチクライアント取引ツールと付帯サービス


トレードレポート



HYPER SPEED NEXT



会員専用サイト




HYPER SPEED モバイル NEXT

➡ 今後も随時新取引ツールのリリースや継続的な機能追加を図る予定

- | | | |
|------|----------|--|
| 主な予定 | 2010年11月 | HYPERSPEED NEXT 正式版リリース
(発注機能を追加搭載) |
| | 2011年春以降 | HYPERSPEED NEXT バージョンアップ
(システムトレード開始) |



Money Partners Group

業界最高水準のシステム安定性と信頼性

◆ システム専門会社をグループ内に保有し、ハードウェア・ソフトウェア両面に強み

高い安定性・信頼性のシステム環境

- 業界最高水準のマシンスペック
- 最高レベルの安全性を持つデータセンター
- 24時間サポート体制
- 高いセキュリティ確保の実現



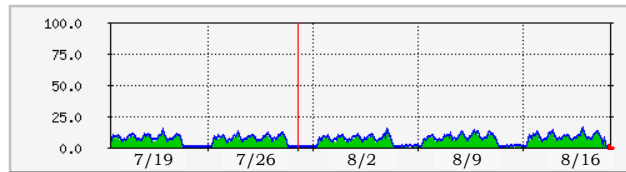
将来を見据えたシステム構成

- 2010/3末比、約7倍の取引量に対応させるキャパシティプランニング
- アプリケーションやDBのチューニングを常時実施し、ハードウェアへの依存を軽減
- 2010/3から順次ハードウェアのリプレースを実施



月次グラフ(2時間平均)

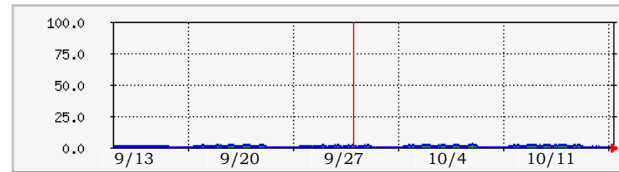
'Monthly' Graph (2 Hour Average)



	Max	Average	Current
CPU Usage Average 1min	14.0%	5.0%	0.0%
CPU Usage Average 5min	15.0%	6.0%	1.0%

【当社取引システムCPU使用率の推移】

'Monthly' Graph (2 Hour Average)



	Max	Average	Current
CPU Usage Average 1min	3.0%	1.0%	1.0%
CPU Usage Average 5min	2.0%	1.0%	1.0%

ハードウェア
リプレース

ハードウェアリプレースにより、システム負荷の最大値・平均値の低減を実現

<今後の予定>

- データベース等においてもリプレース予定
- サーバ負荷軽減により、取引量の増加を吸収

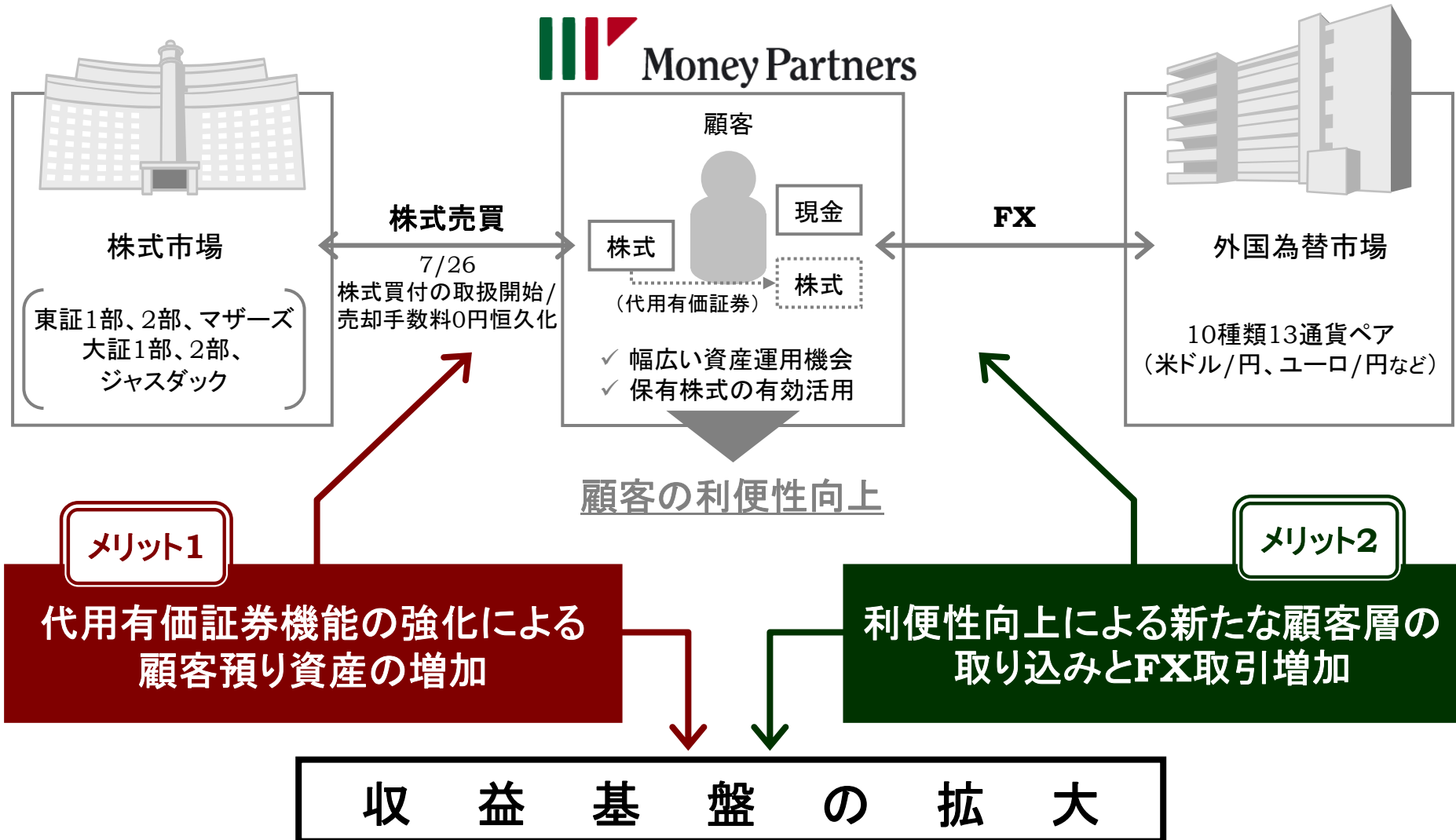
業界トップの“約定力”を支える「とめない、とまらない」取引環境を提供



Money Partners Group

有価証券取扱サービスの拡充によるFX取引との相乗効果

◆ 株式売買を可能とすることで顧客に対し幅広い資産運用の機会を提供



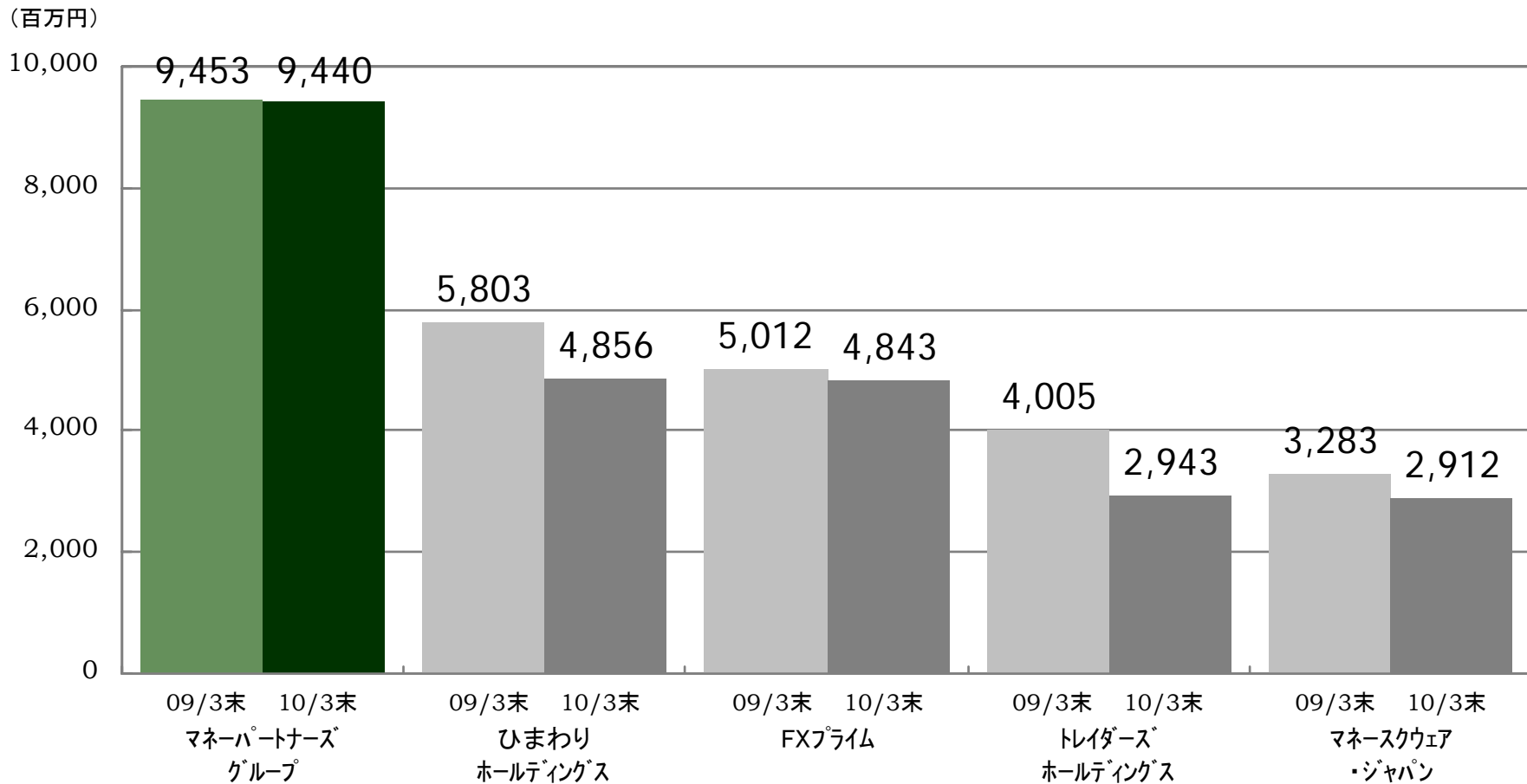


強靱な財務体質

Money Partners Group

◆ 充実した純資産がもたらす高い財務健全性

【当社と上場FX業者(専業および専業以外)の純資産額比較】



※各社ホームページIR資料より当社作成

IV. 経営戦略



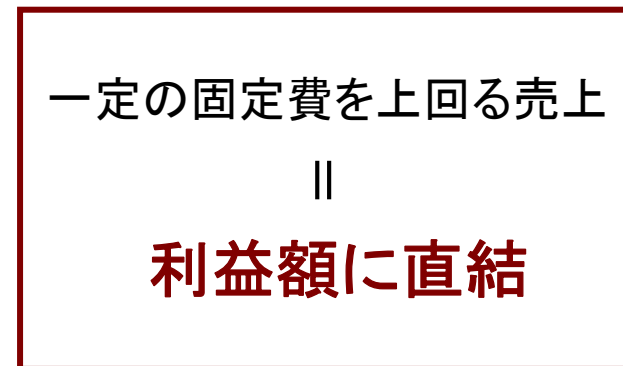
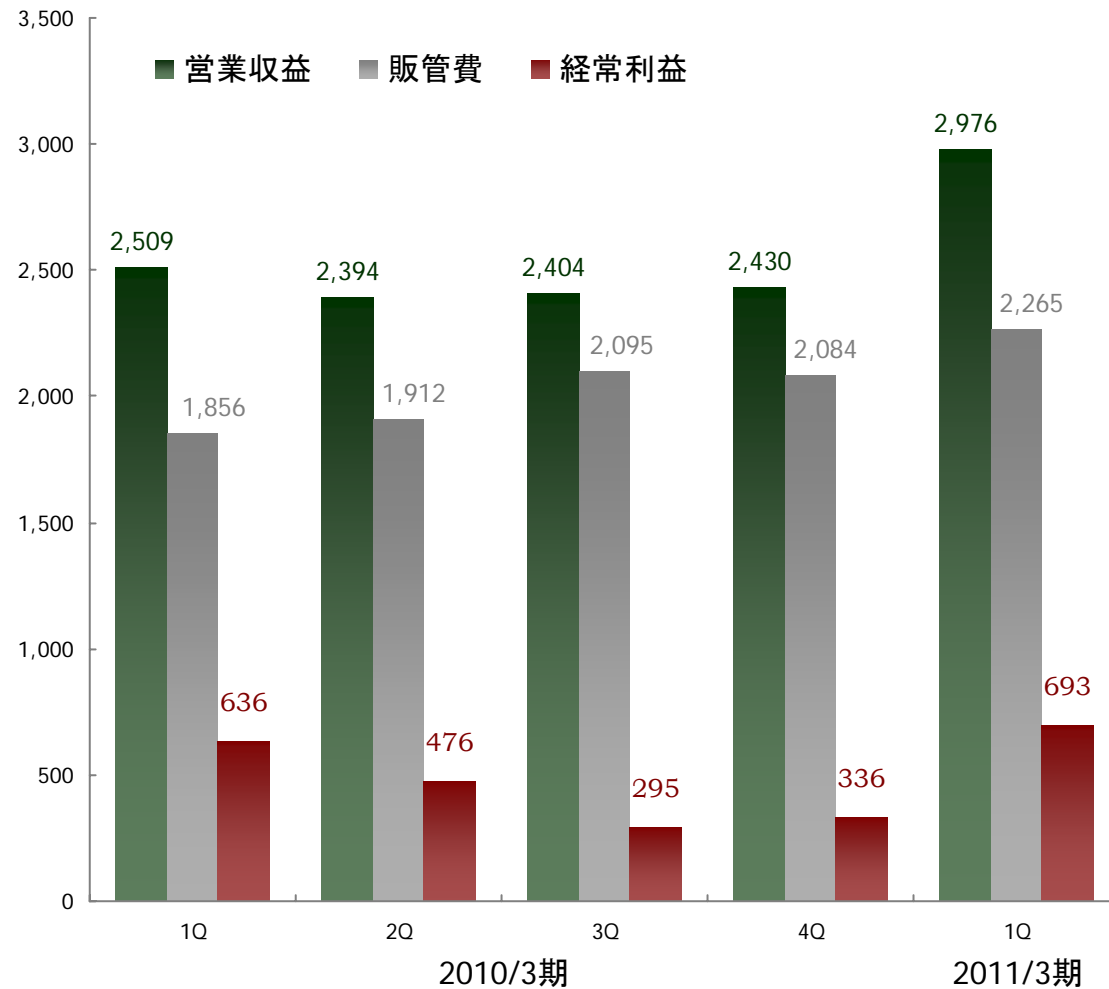


Money Partners Group

当社グループの業績推移

当社業績の推移

(単位: 百万円)



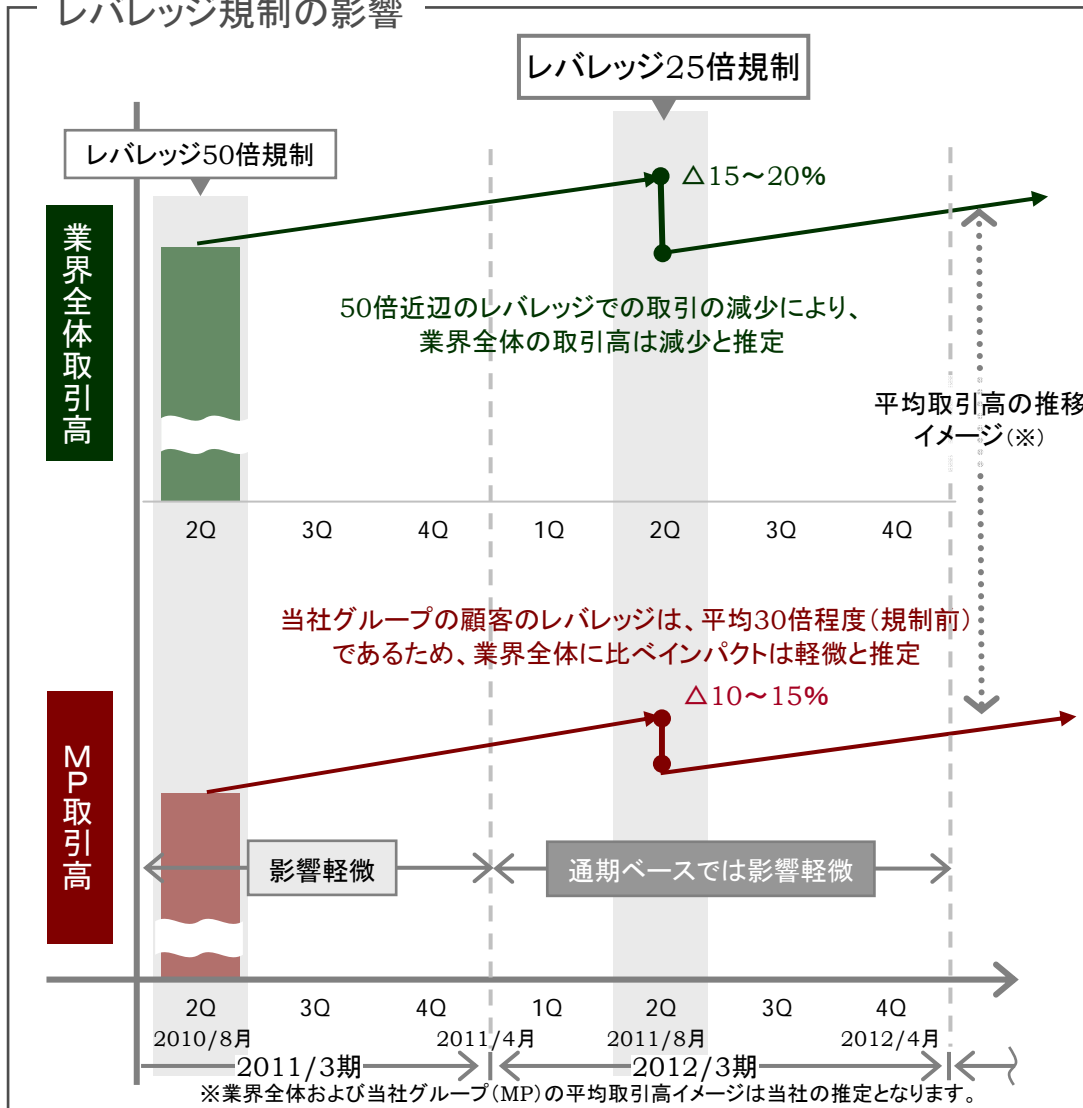


FX業界の展望

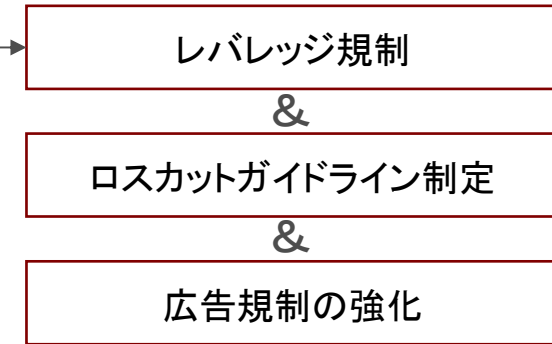
Money Partners Group

■ より一層の整備が図られるFXマーケット

レバレッジ規制の影響



~今後の見通し~



透明化・健全化の
更なる進展



金融庁の平成23年税制改正要望に「店頭デリバティブ取引等の申告分離課税化」が盛り込まれる

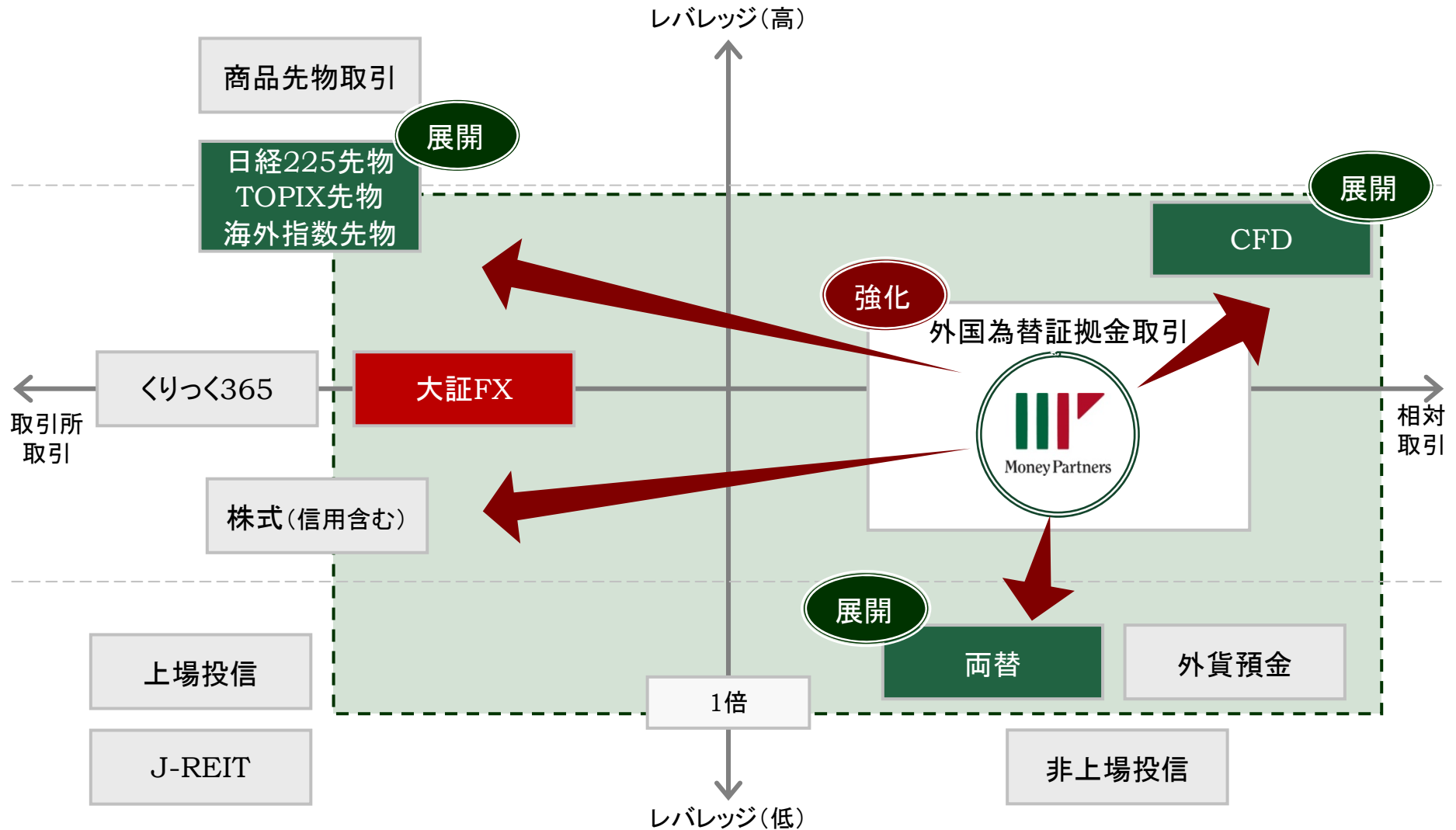
金融商品としての
メリット増の可能性



目指すべきポジション

Money Partners Group

- FXビジネスを中心にサービス領域を拡大し、収益源を多様化





BtoCサービスの更なる強化

■ 当社利益の主軸となるBtoCのFXビジネスをより一層強化

戦略1

商品性の更なる向上

～約定力とスプレッドの両立～

- 約定率100%の堅持
- 競争力のあるスプレッド提示
- 顧客の実質取引コストの低減



戦略2

優良顧客の獲得・育成

～顧客への還元フィードバック～

- 取引高キャッシュバックキャンペーンによる顧客への還元
- トレードレポート強化による顧客のFXリテラシー向上



戦略3

利便性と付加価値の追求

～取引ツール・情報ツールの強化～

- リッチクライアント取引ツールの継続的バージョンアップ
- 代用有価証券サービスの利便性向上

顧客数 UP

&

取引高 UP

&

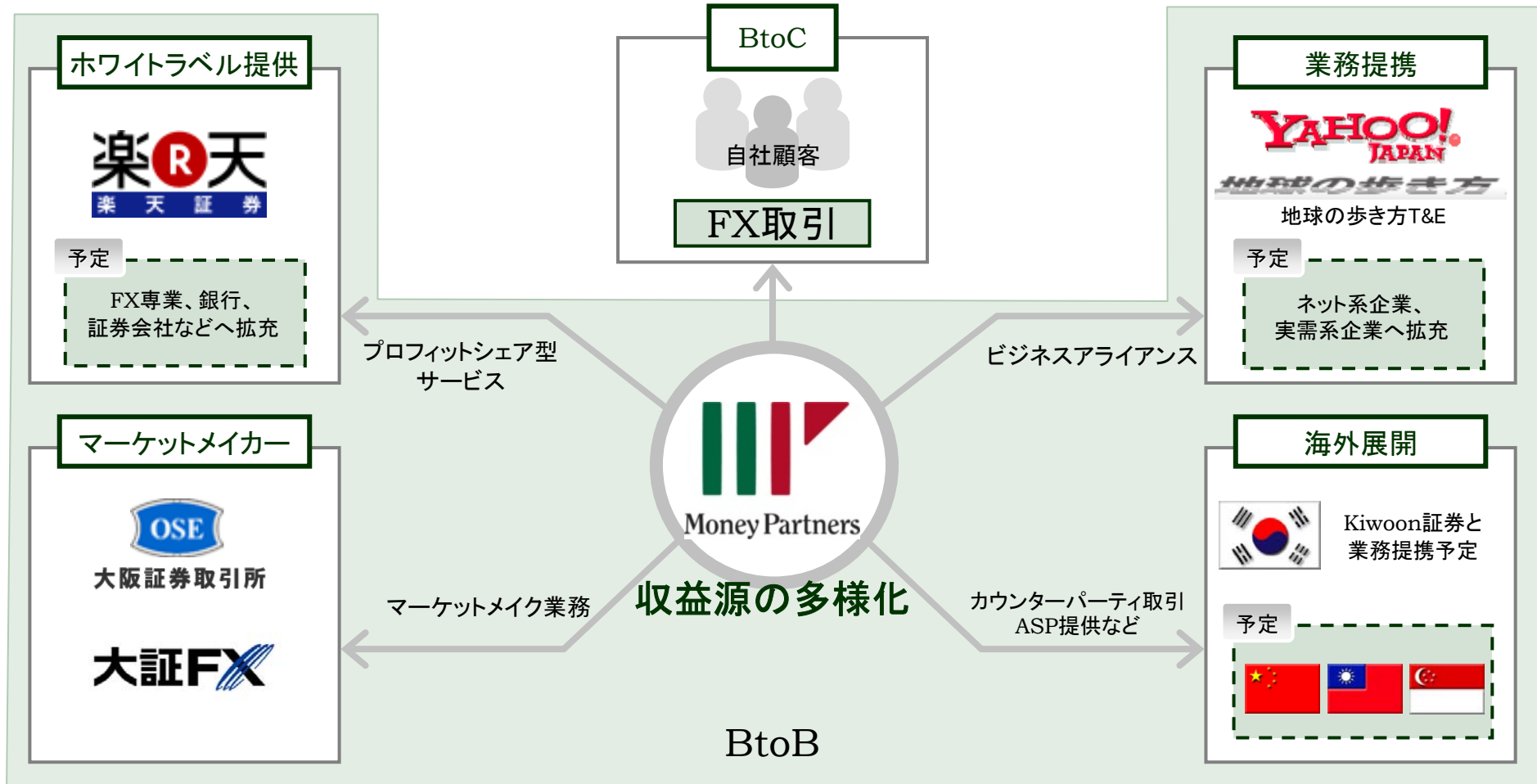
収益性 UP



BtoB展開の推進

Money Partners Group

- 既存のアライアンス先との関係強化を図るとともに、新しいBtoB展開を推進



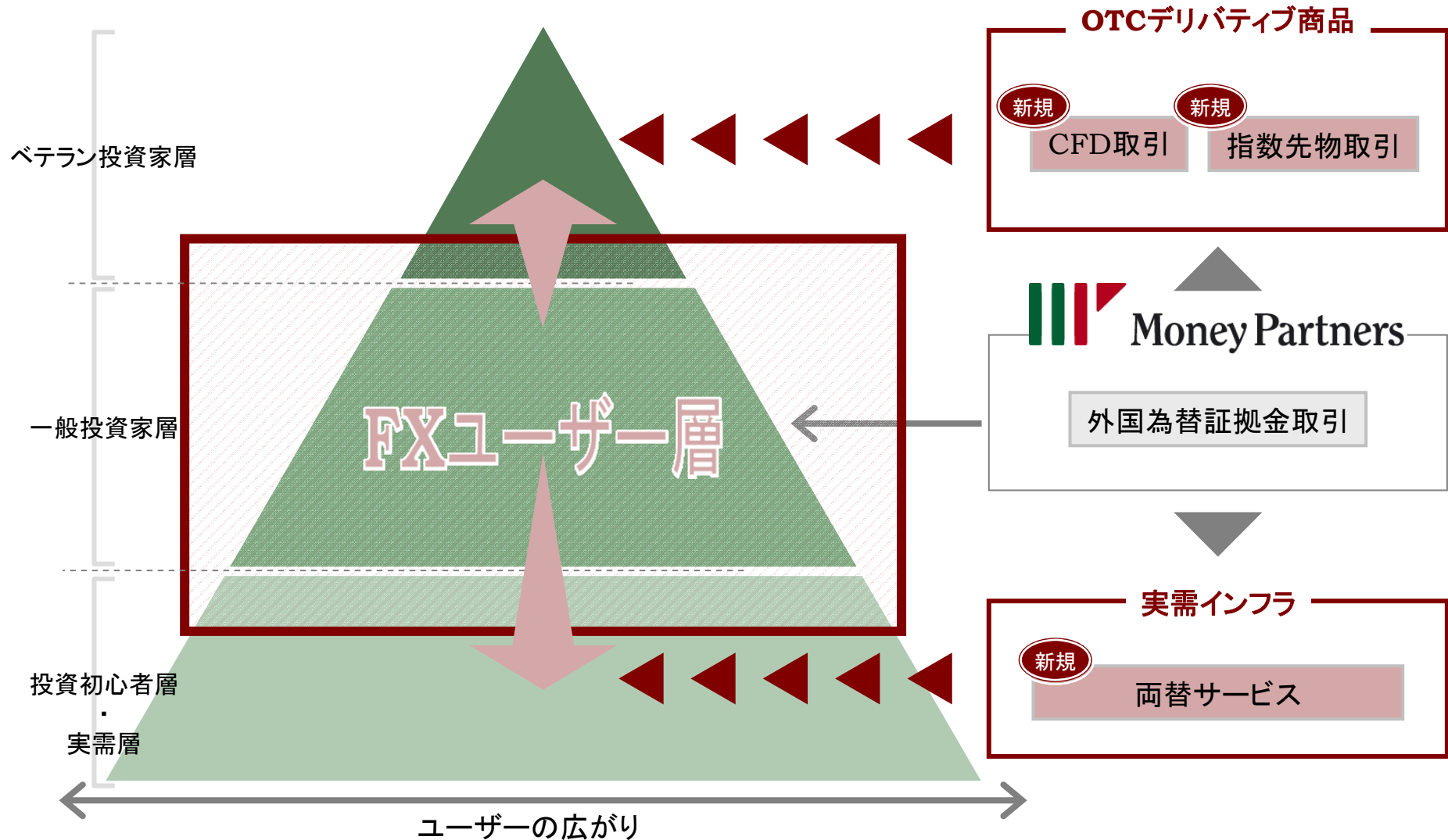
取引高 UP & 限界利益率 UP



新規事業の開発

Money Partners Group

- FXを基軸とした相対取引サービスの追加と実需インフラサービスへの展開



業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

利益還元方針

配当性向：連結当期純利益の30%を目処

配当機会：中間及び期末（年2回）

当社株式を長期保有していただいている株主の皆様に対し、配当性向の引き上げによる利益還元の強化と、年2回の配当実施による利益還元機会の充実を図り、株主利益の最大化を目指してまいります。

	2010年3月期				2011年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益 (百万円)	403	334	213	195	394			
配当金の総額 (百万円)	220		139					
期末発行済 株式総数(株)	321,480 (内、自己株式10,623)							
1株当たり 配当金	700円		450円					

個人投資家様向け説明会

2010年10月23日



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

証券コード:8732

参考資料



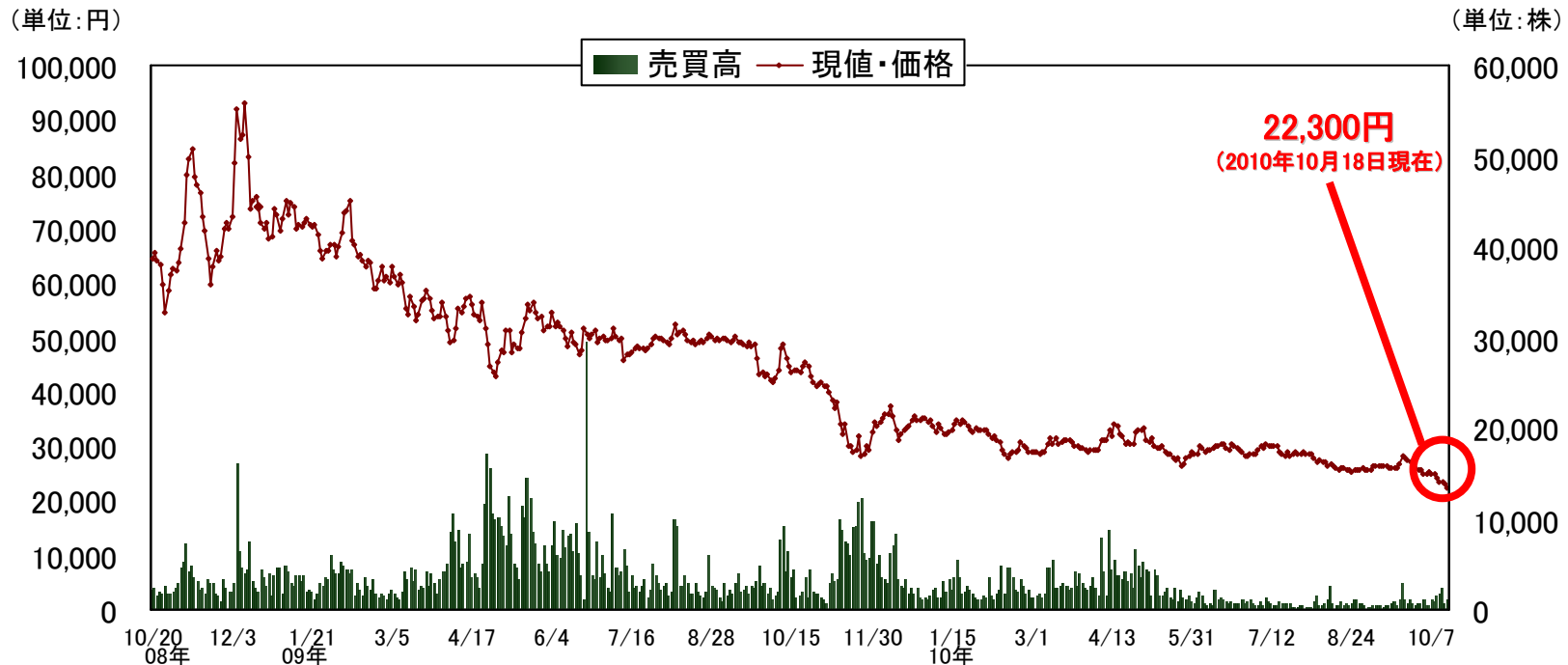
株式概要・株価チャート
当社グループの概要と沿革について
通貨ペアと売買高比率について
四半期業績の推移



Money Partners Group

株式概要・株価チャート

証券コード	:	8732
上場市場	:	大阪証券取引所ジャスダック
上場日	:	2007年6月21日
株式の売買単位	:	1株
発行済株式総数	:	321,480株(2010年3月31日現在)





Money Partners Group

グループ概要(平成22年3月31日現在)

- 商号 株式会社マネーパートナーズグループ
- 本社 〒106-6016 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16F
- 代表取締役社長 奥山 泰全
- 設立日 2005年6月10日
- 資本金 17億68百万円 (2010年3月31日現在)

- 主な事業内容 持株会社

■ 関連会社

株式会社マネーパートナーズ

加入協会: 日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会

登録番号: 関東財務局長(金商)第2028号

- 事業内容: 1. 金融商品取引法に基づく外国為替証拠金取引、有価証券関連業務及びこれに付随する一切の業務
2. 外国通貨の売買、売買の媒介、取次ぎもしくは代理、その他これに付随する業務
3. 金融商品取引業及びこれに付随する業務

株式会社マネーパートナーズソリューションズ

- 事業内容: 1. 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するコンピュータシステムの設計、開発、販売、賃貸および保守
2. 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するマーケティング、企画、調査、研究およびコンサルティング





グループ沿革

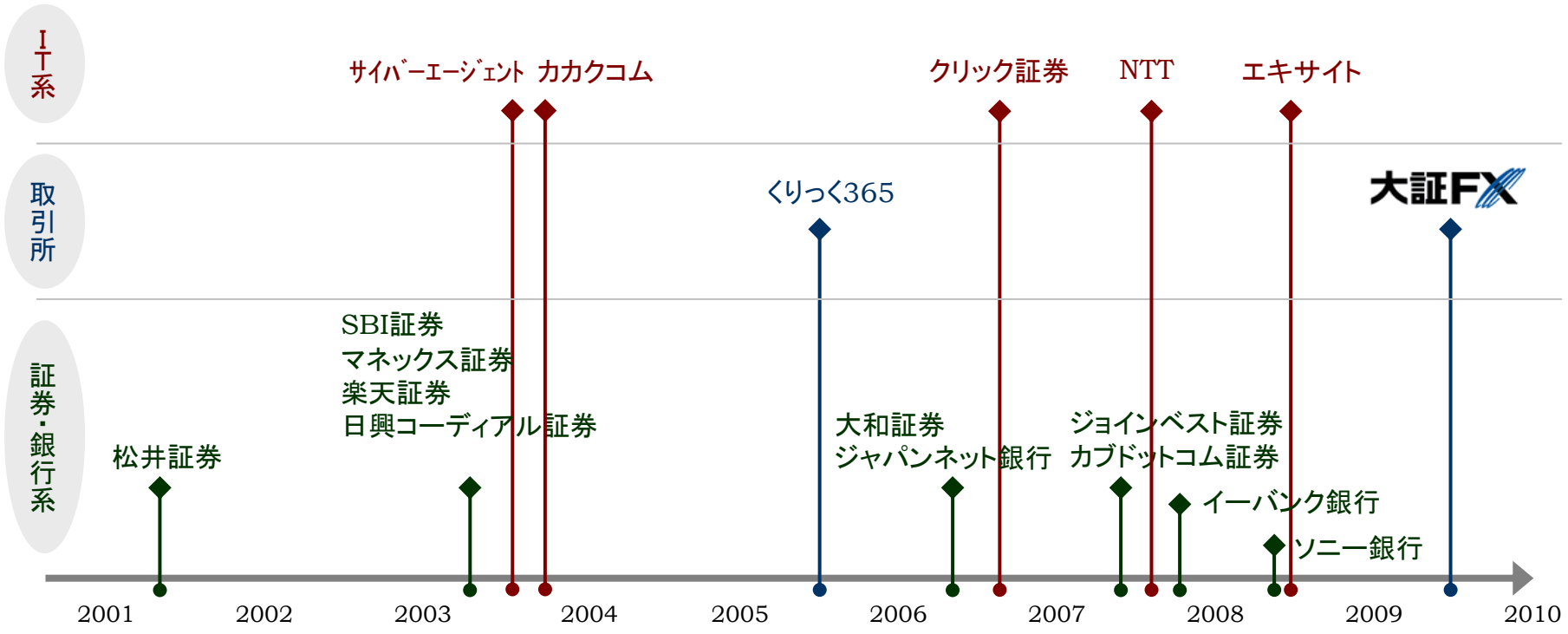
Money Partners Group

年月		事項
平成17年6月	新設分割	□ 一般投資家向けにインターネット等を通じた外国為替証拠金取引サービスを提供することを目的として、株式会社マネーパートナーズを東京都港区西麻布(資本金100,000千円)に設立し、外国為替取引事業を開始
平成18年8月	8通貨→10通貨	□ 南アフリカランド/円、英ポンド/米ドルを加え取引通貨を10通貨ペアに
平成18年9月	システム子会社設立	□ システム開発力の強化を目的として、株式会社マネーパートナーズソリューションズを100%出資子会社として設立
平成19年1月	ロゴ・HP一新	□ CI政策を実施しコーポレートマーク、コーポレートカラー、ホームページを一新 □ 証拠金定額制の導入
平成19年6月	プライバシーマーク取得	□ 「プライバシーマーク」認定取得
平成19年6月	上場	□ 大阪証券取引所ヘラクレスに上場(証券コード:8732)
平成19年9月	第一種金融商品取引業登録	□ 金融商品取引法施行に伴い第一金融商品取引業者として登録
平成20年3月	金融商品取引業の変更登録完了	□ 有価証券の取扱い業務開始
平成20年4月	格付取得	□ 株式会社日本格付研究所(JCR)より新規に格付を取得(短期優先債務:J-3)
平成20年6月	提示レート・小数点以下3ケタ対応開始	□ 全ての対円通貨ペアの提示レート・小数点以下3ケタ対応開始
平成20年10月	持株会社化	□ 株式会社マネーパートナーズグループに商号変更 □ 吸収分割により、全事業をマネーパートナーズ分割準備株式会社(10月1日付で株式会社マネーパートナーズに商号変更)に承継し持株会社体制へ移行
平成21年6月	10万口座達成・DSソフト発売	□ 顧客口座数10万口座達成 □ ニンテンドーDSソフト FXシミュレーションゲーム『マネパ1000万人のFXトレーニング』を発売
平成21年7月	テレビCM開始・大証FX参加	□ ブランド認知度向上を目的として、マネーパートナーズとして初のテレビCMを展開 □ 「大証FX」へマーケットメイカーとして参加
平成22年1月	金銭信託の信託保全義務化に対応	□ 信託保全先を三井住友銀行並びにみずほ信託銀行へと変更
平成22年5月	取引通貨を13通貨ペアに拡大	□ 取引通貨に「香港ドル/円」「シンガポールドル/円」「豪ドル/米ドル」を追加し取引通貨を13通貨ペアに
平成22年7月	有価証券売買機能完備	□ 有価証券買付けの取扱い開始



外為証拠金取引を巡る市場環境

証券会社・IT系企業に加え、取引所もFXに参入



FXへの参入が加速

- ・大手証券、ネット証券など証券会社が続々参入。
- ・ネット銀行もFX参入へ。ソニー銀行は営業を開始し、住信SBIネット銀行も参入。
- ・大証も取引所取引としてFXビジネスを開始。(2009年7月大証FX開始)



外国為替証拠金取引の歴史

【外国為替証拠金取引に関わる法改正や規制強化と、業界およびマーケットの動き】

1998年外為法改正	▶	為替取引の完全自由化 マーケットオリエンテッドな取引商品として個人投資家の取引が活発化
2005年改正金先法施行	▶	乱立していたFX業者が一気に淘汰（600社→100社強へ）
2007年9月金商法施行	▶	FX業者が証券会社と同種扱いの金融庁管轄になり、透明性や内部管理体制の更なる厳格化が進展
2009年8月改正内閣府令施行	▶	預り証拠金の区分管理方法を金銭信託に一本化 FX取引に係るロスカットルール整備・遵守の義務化
2010年8月改正内閣府令施行	▶	証拠金規制が導入され、高レバレッジ競争に対する規制が強化














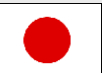







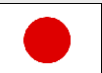




激化する競争環境の中、成否二極化の様相！！
マネーパートナーズはFX専業・ネット専業大手企業としてのポジションを獲得

マネーパートナーズの取扱い通貨ペアと売買高比率

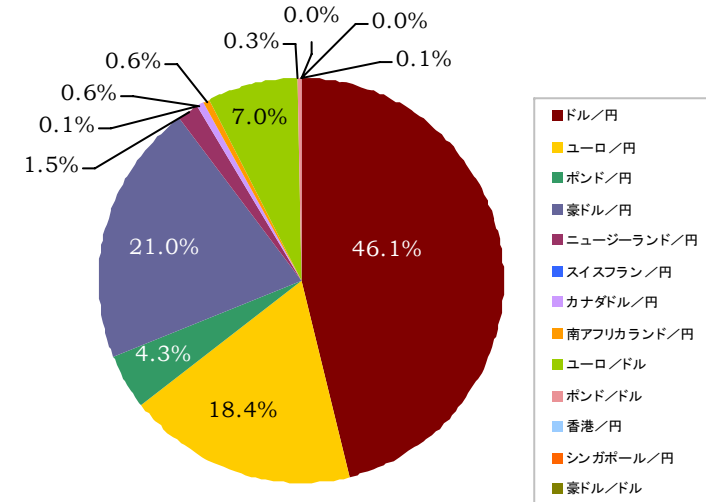
米ドルやユーロといった主要通貨をはじめ、高金利通貨として人気を集めるオーストラリアドル・ニュージーランドドルなどを取扱っています。

各通貨ペアとも、インターバンク市場での取引単位の約100分の1となる10,000単位での取引が可能。さらに投資家のニーズに応える形で『FXnano』を開始し、一部通貨ペアに関しては、約10,000分の1となる100単位での取引を実現。

当社取扱い通貨ペア

		USDJPY 米ドル円			AUDJPY 豪ドル円
		EURJPY ユーロ円			NZDJPY NZドル円
		GBPJPY 英ポンド円			ZARJPY 南アランド円
		CADJPY カナダドル円			CHFJPY スイスフラン円
		EURUSD ユーロ米ドル			GBPUSD 英ポンド米ドル
		HKDJPY 香港ドル円			SGDJPY シンガポールドル円
		AUDUSD 豪ドル米ドル			

下記グラフは当社の2010年4月-6月度の取扱い通貨ペア別の売買高比率をあらわしたものです。





四半期業績推移

Money Partners Group

◆ 四半期業績推移

単位:百万円

	2009/3期			2010/3期				2011/3期	前四半期 対比増減
	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	
営業収益	2,546	3,586	3,167	2,509	2,394	2,404	2,430	2,976	22.4%
受入手数料	0	1	0	0	0	0	0	0	39.6%
トレーディング損益	2,511	3,570	3,096	2,480	2,382	2,381	2,417	2,955	22.3%
金融収益	30	12	7	3	5	4	5	6	26.4%
その他の売上高	3	2	63	24	5	18	7	13	69.7%
金融費用	0	0	0	0	0	0	2	2	△2.1%
売上原価	-	-	39	17	3	10	5	8	76.5%
純営業収益	2,545	3,585	3,126	2,490	2,390	2,392	2,423	2,964	22.3%
販売費・一般管理費	1,468	1,924	1,926	1,856	1,912	2,095	2,084	2,265	8.7%
営業利益	1,076	1,661	1,200	634	477	297	339	698	106.0%
経常利益	1,053	1,659	1,197	636	476	295	336	693	106.3%
税金等調整前四半期純利益	1,046	1,659	1,195	636	476	295	336	671	99.8%
四半期純利益	663	1,024	826	403	334	213	195	394	101.6%
営業収益経常利益率	41.4%	46.3%	37.8%	25.4%	19.9%	12.3%	13.8%	23.3%	



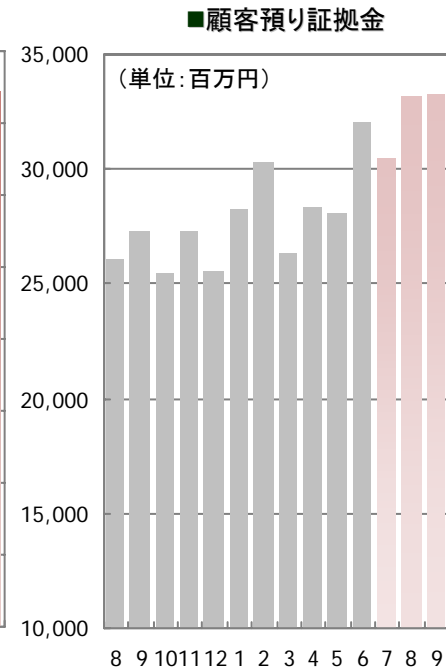
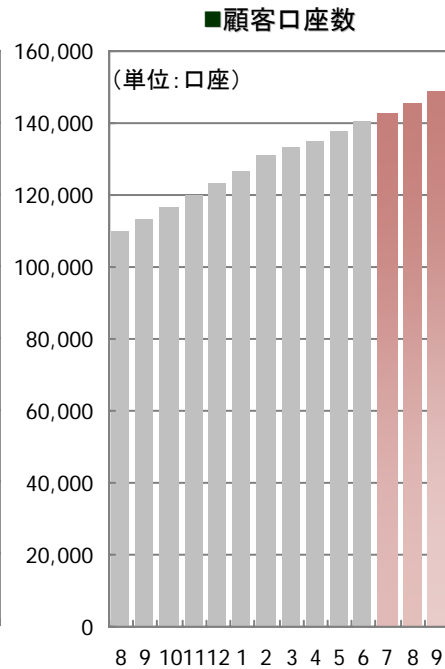
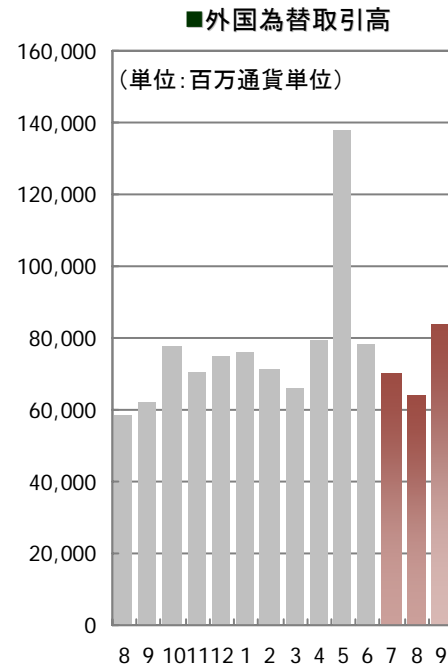
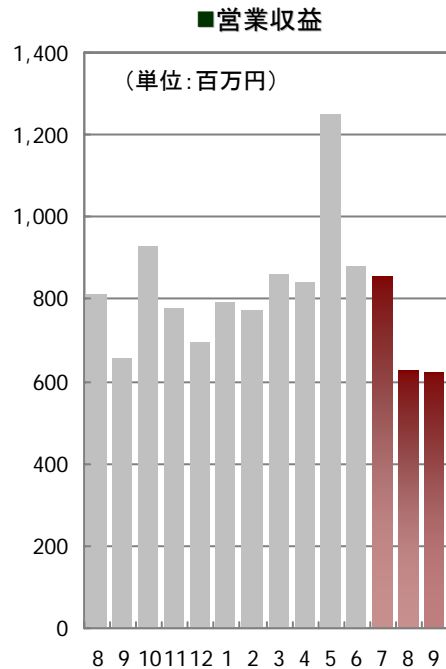
月次業績指標推移

Money Partners Group

◆月次営業収益、取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業収益(百万円)	813	656	928	777	697	794	775	860	843	1,249	882	855	627	622
取引高(百万通貨単位)	58,187	62,076	77,652	70,481	75,109	75,878	71,294	66,193	79,232	137,860	78,141	69,980	63,673	84,155
顧客口座数(口座)	110,222	113,275	116,632	119,881	123,278	126,746	130,930	133,213	135,141	137,924	140,592	142,846	145,622	148,898
顧客預り証拠金(百万円)	26,124	27,295	25,444	27,331	25,557	28,234	30,319	26,375	28,316	28,099	32,030	30,419	33,160	33,237

※営業収益、取引高は、ホワイトラベル提供及び大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。
顧客預り証拠金は、ホワイトラベル提供に伴う預り証拠金を含んでおります。





取扱い商品に係るリスクおよび手数料等について

パートナーズFX、およびパートナーズFXnanoは、取引通貨の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。

また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。取引手数料はインターネット取引の場合、新規・決済共に無料です。電話取引(パートナーズFXのみ)の場合、10万通貨単位未満の取引では1通貨単位あたり片道20銭、10万通貨単位以上の取引では1通貨単位あたり片道10銭です。

取引に必要な証拠金は、取引の額の2%以上の額で、証拠金の約50倍までの取引が可能です。法人コース(パートナーズFXのみ)の場合、1万通貨単位あたり5千円から2万円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約100倍までの取引が可能です。各通貨の売付価格と買付価格とは差額(スプレッド)があります。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.5%の手数料(消費税別)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,625円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等及び有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者)
〈登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号
〈加入協会〉日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会